2026 年 9 月 14-20 日

41 番の歌 どうか私の祈りを聞いてください

心に染みるイザヤ書の言葉

*「エホバはこう言う。……『母親が子を慰めるように，私もあなたたちを絶えず慰める』」。*イザヤ 66:12，13

ポイント：落ち込んだり悲しくなったりする時，イザヤの聖句から力がもらえます。

1-2. エホバは私たちが悲しんでいる時，どうしたいと思っていますか。

小さい子供が泣きじゃくっています。家族で急に引っ越すことになって，仲のいい友達と離れ離れになるのが悲しいのかもしれません。うっかりしてしまった失敗が悔しくて泣いているのかもしれません。そんな時，優しいお母さんはどうするでしょうか。泣いている子供のことをとても心配して優しくハグします。そして「何がそんなに悲しいの？ 話してごらん」と尋ね，時間をかけて話を聞きます。それから「あなたのこと大好きだよ。安心して」と言います。

2 エホバは聖書の中で，自分を子供思いの母親に例えています。こう言っています。「母親が子を慰めるように，私もあなたたちを絶えず慰める」。（イザ 66:13 **母親が子を慰めるように，** 私もあなたたちを絶えず慰める。 あなたたちはエルサレムのことで慰められる。）親が子供を思う気持ちはとても深いものです。でも，エホバが私たちを思う気持ちは，それとは比べ物になりません。（イザ 49:15 女性が自分の乳を飲ませている子を忘れたり， 自分が産んだ子を思いやらなかったりするだろうか。 たとえ**女性たちが忘れたとしても，私があなたを忘れる**ことは**決してない。**）エホバは，私たちが落ち込んだり悲しくなったりする時に，ぜひ慰めたい，元気を取り戻してほしいと思っています。そして，聖書を通して，私たちを愛していることを伝え続けてくれています。（ロマ 15:4 以前に書かれた事柄は皆，私たちを教えるために書かれました。そのおかげで私たちは**忍耐でき**，聖書から**慰めを得られる**ので，**希望を持っていられます。**）

3. この記事ではどんなことを考えますか。

3 聖書のイザヤ書には，慰めたいというエホバの強い気持ちが伝わってくる温かい言葉がちりばめられています。（イザ 40:1 あなたたちの**神はこう言う。「慰めよ，私の民を慰めよ。**）この本はもともと，すごく大変な時代を生きていたユダの人たちに向けて書かれました。それで，「困難で危機的な時」を生きる私たちにとっても力になります。（テモ二 3:1 このことを知っておきなさい。**終わりの時代**は**困難で危機的な時**になります。）この記事では，大変な時にぜひ思い出したい，イザヤ書の**心に染みる聖句**を幾つか取り上げます。特に（1）**予想外の変化を経験**する時，（2）**過去の失敗が心に重く**のしかかる時，（3）大切な人との**死別で胸が張り裂けそう**な時，思い出すと力をもらえる聖句です。

予想外の変化を経験する時

4. 予想外の変化を経験すると，どんな気持ちになりますか。

4 誰しも予想外の変化を経験します。（伝 9:11 私はこの地上で次のことも知るようになった。足の速い人がいつも競走に勝つわけでも，強い人が戦いに勝つわけでもない。また，賢い人がいつも食事にありつけるとは限らない。知的な人が裕福になるとも，知識がある人が成功するとも限らない。なぜなら，**思いも寄らないことがいつ誰にでも起きる**からだ。コリ一 7:31 世を利用している人は**世を十分には利用していない人のように**なってください。今の**世のありさまは変わろうとしている**からです。）健康の問題，お金の面での苦労，政情不安を経験したり，エホバから「別の奉仕をしてください」と言われたりすることもあります。そういう経験をすると，この先どうしていったらいいんだろうと不安になります。17 年間ベテル奉仕をした後，ベテルを出ることになったジョゼフ兄弟はこう言っています。「長くベテル奉仕をしてきたので，本当に大きな変化でした。これからどうしたらいいんだろう，何から手を付ければいいんだろうと不安でたまりませんでした」。では，エホバはイザヤ書を通して，そういう経験をしている人たちをどんなふうに慰めているでしょうか。

5. イザヤ 42 章 16 節でエホバはどんなことを約束していますか。（写真も参照。）

5 イザヤ 42:16 **目が見えない人たち**を**導いて**彼らの**知らない道**を通らせ，**なじみのない道**を歩かせる。彼らの前の**闇を光に変え，険しい土地を平地に**変える。私は**彼らのためにこれを行い，彼らを見捨てない**」。を読む。変化を経験する時，まるでうっそうとした山の中を手探りで進んでいるような感覚に陥るかもしれません。でもエホバはこの聖句を通して，そんな時も必ず私たちを支えると約束しています。「目が見えない人たち」が「なじみのない道」や「闇」の中，「険しい土地」を進む時，エホバは必ずそばにいると書かれています。そのエホバがいてくれるので，これから先どんなことが起きるとしても自分は大丈夫だ，という安心感を持てます。エホバが手を引いて暗い所から明るい所に連れていってくれること，進んでいく道をきれいに整えてくれることを分かっているからです。エホバはどんなふうにそうしてくれるんでしょうか。**聖書**と，**頼りになる仲間**を通して支えてくれます。（詩 119:105 **あなたの言葉**は私の足**元を照らすランプ**，私の**進む道を照らす光**。イザ 30:21 右や左に**それそうになる時**には，**後ろから**あなたの耳に，「**これが道**である。**この道を歩みなさい**」という言葉が聞こえる。）思いがけない変化にぶつかって，どこに進めばいいか分からなくなる時，エホバが不安な気持ちを全部分かってくれていること，一歩踏み出せるように優しく手を引いてくれていることを思い出すと，心が軽くなります。（イザ 41:10 恐れてはいけない。**私があなたと共に**いる。**心配してはいけない**。私があなたの神である。私はあなたを**強くし，必ず助ける**。私の**正義の右手であなたをしっかりと支える**(*つかんで離さない)』。ペテ一 5:6，7 **神の力強い手の下**(ｲﾄ)で**謙遜に**なってください。そうすれば，神は**やがて皆さんを重**んじて(d*高く上げて)くださいます。7 そして，**心配事(*不安/悩み)を全て神に委**ねましょう。神は**優しく気遣**ってくださるからです。）



大きな変化があっても，エホバは変わらずに支え続けてくれる。（5 節を参照）

*写真や挿絵: **ベテルを離れた夫婦**が，新しい会衆の兄弟姉妹に**温かく迎えられて**いる。

6. 予想外の変化を経験しても心配しなくていいのはどうしてですか。

6 先ほどのジョゼフ兄弟は，夫婦でベテルを離れた時期を振り返ってこう言っています。「あの頃，エホバがどれほど優しいかをしみじみ感じました。エホバはいつも必要なものをぴったりのタイミングで与えてくれました。兄弟姉妹が物を分けてくれたり，親身になって励ましてくれたりしました。この先も絶対にエホバが支えてくれる，と前よりも強く信じられるようになりました」。あなたも今，予想外の変化を経験していますか。そんな時，思い出してください。先行きが見えなくて不安になるとしても，エホバは変化を受け入れて前向きにやっていくための力をくれます。（イザ 54:10 山は取り除かれ，丘は揺らぐかもしれない。しかし，あなたに対する私の揺るぎない愛が取り除かれることはなく，私の平和の契約が揺らぐこともない」と，あなたを憐れむエホバは言う。; 58:11 エホバは常にあなたを導き，乾き切った土地でもあなたを十分に世話し，元気づける(d*あなたの骨に力を与える)。あなたはよく潤っている庭園のようになり，水が枯れることのない泉のようになる。）ジョゼフ兄弟はこう続けています。「『先のことは見えないでも 1 人じゃないんだ』というオリジナルソング*「神は私を離れない」という曲です。の歌詞の通りだと思います。自分の思い描いていた通りに物事が進まないこともありますが，私たちがどこに行くとしても，エホバはいつもそばにいてくれます」。

失敗が心に重くのしかかる時

7. 過去の失敗が原因で，どんな葛藤を感じることがありますか。

7 大きな失敗をしてしまったとしても，優しい長老たちに相談すれば，エホバとの絆をまた強くするために必要なサポートを受けられます。自分としても同じ過ちを繰り返さないように一生懸命努力する必要があります。（格 28:13 自分の**違反を隠す人**は**成功しない**が，それを**告白して捨てる人**は**憐れみを**示される。ヤコ 5:14-16 **病気の人**がいますか。その人は**会衆(*)の長老たち**を呼んでください。そして，**自分のために祈って**もらい，エホバ(*)の名によって**油を塗って**もらってください。15 **信仰の祈り**は**病気の人(if*疲れている人)を良**くし，エホバ(*)がその人を**起き上がらせて**くださいます。また，その人が**罪を犯したのであれば**，**許され**ます。16 ですから，**互いに罪を告白**し，**互いのために祈って**ください。そうすれば**癒やされ**ます。**正しい人の祈願**には**大きな力**があります。ヨハ一 1:9 自分の**罪を告白**するなら，**神は信頼できる正しい方**ですから，**罪を許してくださり**，私たちを**あらゆる不正から清めて**くださいます。）それでも気持ちが晴れないこともあるかもしれません。「エホバはあんなことをしてしまった自分を，本当に許してくれているんだろうか」と感じることもあり得ます。（コリ二 2:7 今は優しく許して慰めるべきです。その人があまりの悲しみに打ちのめされてしまわないためです。）罪悪感に責められて，前に進んでいく力がなくなってしまうかもしれません。大きな過ちを犯したダビデもこう言っています。「私が罪を犯したので，私の内に安らぎはない」。「私は感覚を失い，完全に打ちのめされ[る]」。（詩 38:3 **あなたが憤った**ので，私の**全身は病んで**いる。私が**罪を犯した**ので，**私の内(d*私の骨)に安らぎはない**，8 私は**感覚を失い**，**完全に打ちのめされ**，**心の苦悩のためにうめき声を上げる**。）そういう気持ちになる時，イザヤ書から力をもらえます。

8-9. イザヤ 1 章 18 節からすると，エホバはどれほど許したいと思っていますか。

8 イザヤ 1:18 エホバはこう言う。「来なさい。私たちの間で物事を正そう。 あなたたちの罪は緋(*赤)のようだが， 雪のように白くされる。 紅の布のように赤いが， 羊毛のようになる。 を読む。この聖句から，エホバがどれほど許したいと思っているかが伝わってきます。「罪は緋のようだが，雪のように白くされる」とあります。緋色はとても鮮やかな赤で，服に緋色の染みが付いてしまうとそう簡単には消せません。でもエホバはその染みを真っ白にするかのように許すと言っています。エホバがせっかく消してくれたので，染みのことはもう気にしなくて大丈夫です。

9 ダビデ王のことを考えてみましょう。ダビデは姦淫と殺人というとても大きな過ちを犯しました。でも，エホバはダビデを許しました。それだけではなく，ダビデのことを「忠誠心を尽くした人」と言いました。（サム二 11:3，4 ダビデはその女性について調べさせたところ，「ヘト人ウリヤの妻で，エリアムの娘バテ・シバです」という報告があった。 4 ダビデは使者たちにバテ・シバを連れてこさせた。こうして彼女はダビデの所に来て，ダビデは彼女と寝た。（彼女が汚れ(c*月経の汚れのことかもしれない)から自分を清めている期間に起きたことだった。）その後，彼女は家に帰った， 14， 15 朝になると，ダビデはヨアブに手紙を書き，ウリヤに託した。 15 ダビデは手紙にこう書いた。「ウリヤを戦いが最も激しい前線に置きなさい。そして彼を残して退却し，彼が討たれて死ぬようにしなさい」。; 12:13 ダビデはナタンに言った。「私はエホバに対して罪を犯しました」。ナタンはダビデに言った。「エホバはあなたの罪をお許しになります。あなたは死ぬことはありません。王一 9:4，5 あなたが父ダビデと同じように，私が命じたこと全てを行って，清い心で(*忠誠心を尽くして)正直に私に仕え(d*の前で歩み)，私の規定と法規を守るなら， 5 私は，あなたの父ダビデに『イスラエルの王座には必ずあなたの家系の人がつく』と言って交わした約束の通り，イスラエルを治めるあなたの王国の王座が永遠に揺るがないようにする。）過去にした失敗のことでダビデにレッテルを貼ったりはしませんでした。エホバにとってダビデは，正しく真っすぐに生きた人でした。私たちも失敗してしまった時，心を入れ替えるならエホバは気持ちよく許してくれます。それだけでなく，晴れやかな心で前を向いて進んでいけるようにエホバが助けてくれます。イザヤ書の別の聖句も力になります。

10. 失敗が心にのしかかる時，イザヤ 38 章 17 節を読むといいのはどうしてですか。

10 イザヤ 38:17 ご覧ください，私は平和の代わりにひどい苦難を味わいました。 しかし，あなたは優しくしてくださり， 私を滅びの穴から守ってくださいました。 私の全ての罪をご自分の後ろに投げ捨てて(*視界から取り除いて)くださいました。と脚注を読む。この聖句の「私の全ての罪をご自分の後ろに投げ捨ててくださいました」という表現は，「私の全ての罪を視界から取り除いてくださいました」とも訳せます。エホバが背後に投げ捨てた罪は，もうエホバには見えません。エホバはその罪のことを考えることもしません。さらにある参考資料によると，この部分は「あなたは[私の罪を]まるで生じなかったかのようにされた」と言い換えることもできます。私たちは以前してしまったことのせいで心が痛んで，あれをなかったことにできたらいいのに，と思うことがあるものです。エホバはまさにそうしてくれます。エホバにとって，あなたが犯してしまった罪はなかったも同然です。「あなたの罪を思い出さない」と言っている通りです。（イザ 43:25 私，この私が，私自身のためにあなたの違反(*反逆的な行い)を消し去っており， あなた

の罪を思い出さない。）最高の裁判官エホバは，あなたの罪を許すという判断を下しています。そうであれば，その判断を覆すことは誰にもできません。

今味わえている幸せを，罪悪感にかき消されないでください

11. エホバはあなたを許した後，あなたのどこに目を向けていますか。（写真も参照。）

11 こういうことは，頭ではよく分かっていても，気持ちが付いてこないこともあります。そんな時は，エホバがどんな方か，どれほど気持ちよく許してくれるかをよく考えるようにしてください。人間は，ほかの人がした間違いを蒸し返してしまいがちです。でも，エホバは違います。許すと言ったら，きれいさっぱり許してくれます。（イザ 57:16 私は**いつまでも敵対**することはせず，**常に憤ったままでいる**こともない。**さもなければ**，私のゆえに**人の生気は弱まり**，私が造った**生き物は弱り果てる。**）エホバにとって大事なのは，あなたが以前したことではなく，今どんな人で，これからどんな人になるかということです。（イザ 55:7 **悪い行いをやめ，有害な考えを捨てよ。憐れんでくださるエホバのもとに帰れ。**私たちの神のもとに帰れ。神は**寛大に(*惜しみなく)許して**くださる。）エホバって本当に懐が深いですね。せっかく今味わえている幸せを罪悪感にかき消されるようなことはしないでください。エホバが許してくれているのですから，自分でも自分のことを許してあげましょう。



エホバにとって，私たちが以前にした失敗はもうなかったこと。（11 節を参照）*写真や挿絵: 兄弟が開拓奉仕学校で楽しそうに学んでいる。以前の失敗のことでくよくよしてはいない。

大切な人を亡くした時

12. 大切な人を亡くすと，どんな気持ちに襲われますか。

12 大切な人を亡くすと，胸が張り裂けるような思いがして，その痛みはなかなか消えません。エホバはどうしてこういうことが起きるのを止めなかったんだろう，と考えてしまうこともあります。火事で両親を亡くしたマイケル兄弟はこう言っています。「悲しくて悲しくて，どうしようもありませんでした。エホバのせいじゃないと分かってはいましたが，エホバはどうして助けてくれなかったんだろうと思って，怒りややるせなさを感じました」。あなたも同じように感じていますか。エホバはそんなあなたを慰めたいと思っています。

13. イザヤ 25 章 8 節にはエホバのどんな約束が載っていますか。

13 イザヤ 25:8 神は**死を永久にのみ込む(*取り除く)。**主権者である主エホバは全ての顔から**涙を拭う。ご自分の民に対する非難を全世界から除き去る。**エホバご自身がそう語ったのである。を読む。エホバは「死を永久にのみ込む」と約束しています。大切な人との死別を経験することは，もう二度とありません。その時のことを想像してみてください。（イザ 35:10 エホバに救い出

された(d*買い戻された)人たちが，歓声を上げながらシオンに帰ってくる。 いつまでも続く喜びが彼らの冠となる。 彼らは**歓喜にあふれ，悲しみやため息は逃げ去る。**）日常のふとした瞬間に，あの人がそばにいないということを思い出して，切なくなることはもうありません。大切な人とずっと一緒にいられるようになります。いつも約束を守るエホバが言っていることなので，必ずそうなります。（啓 21:4，5 神は**人々の目から全ての涙を拭い去**ります。もはや**死はなくなり，悲しみも嘆きも苦痛もなくなり**ます。以前のものは過ぎ去ったのです」。 5 そして，王座に座っている方が，「見なさい！ 私は全てのものを新しくしている」と言い，さらにこう言った。「書きなさい。**これらの言葉**は**信頼でき(*確かで)，真実である**」。）

14. 復活についてよく考えるとどんな気持ちになりますか。（イザヤ 26:19）（写真も参照。）

14 イザヤ 26:19「**あなたの死者は生きる。** 私の民の死体(d*私の死体)は起き上がる。 土の中に住む者たち， 目を覚まし，歓声を上げなさい！ あなたの露は朝露(if*草（アオイ）の露)のようであり， **大地**は**無力な死者を生き返らせる(*産む)。**を読む。エホバはただ死を終わらせるだけではなく，亡くなった人たちを将来生き返らせます。エホバは「***私の***民の死体は起き上がる」と言っています。ここから，エホバの亡くなった人たちを自ら生き返らせたいという強い気持ちが伝わってきます。エホバはその人たちのことを片時も忘れずに覚えていて，決めたタイミングで生き返らせます。ちょうど朝に露が下りると，カラカラになっていた植物が元気を取り戻すように，エホバが呼び掛けると，亡くなっていた人たちは目を覚まします。死という耐え難い悲しみは，復活という言葉にできないほど大きな喜びに変わります。（マルコ 5:42 すると少女はすぐに起き上がって歩き始めた。（少女は 12 歳だった。）その時，**両親**は**われを忘れて大喜び**したと比較。）



亡くなった大切な人と必ずまた会える。（14 節を参照）

15. 復活について考えるといいのはどうしてですか。

15 もちろん，復活があるからといって死別の悲しみがなくなるわけではありません。でも，エホバが亡くなった人たちのことをずっと覚えているということを考えると，心が温かくなります。先ほどのマイケル兄弟はこう言っています。「イザヤ 26 章 19 節を読んで，エホバが私の両親をとても大切に思っていること，亡くなったとしても絶対に忘れたりしないことが分かって，本当にうれしくなりました。エホバは将来，必ず 2 人を生き返らせてくれます。そういう希望があるので，今はつらくてもやっていけます」。亡くなった大切な人とまた必ず会えることをいつも思い出すようにしましょう。痛みが消えないとしても，頑張っていく力が湧いてきます。

16. あなたはつらい時どんな聖句から力をもらってきましたか。

16 この記事では，心が温かくなるイザヤ書の幾つかの聖句に注目しました。特に，①予想外の変化を経験する時，②失敗が心に重くのしかかる時，③大切な人との死別で胸が張り裂けそうな時

，力をもらえる聖句です。エホバが聖書を通して私たちを慰め，痛みを和らげてくれるのは本当にありがたいことです。（詩 94:19 心配事で圧倒されそうな(*不安な気持ちでいっぱいになった)時，あなたは**私を安心させ(*慰め)，落ち着かせて**くださった。）あなたにもつらい時に心の支えになるようなお気に入りの聖句がありますか。そういう聖句を暗記したり，書き出してよく目に付く所に貼っておいたりするのはどうでしょうか。そうやって，温かい優しさにあふれるお父さんエホバにこれからも慰めてもらうようにしましょう。

大変な時，次の聖句はどのように力になりますか

１．イザヤ 42:16 目が見えない人たちを導いて彼らの知らない道を通らせ，なじみのない道を歩かせる。彼らの前の闇を光に変え，険しい土地を平地に変える。私は彼らのためにこれを行い，彼らを見捨てない」。　⇒　（**予想外の変化を経験する時**）

・S05　変化を経験する時、まるでうっそうとした山の中を手探りで進んでいるように感じても、エホバが手を引いて暗い所から明るい所に連れていってくれること、進んでいく道をきれいに整えてくれることを分かっていて、必ずそばにいてくださるので、どんなことが起きるとしても安心感を持てる。実際に**聖書**と、**頼りになる仲間**を通して支えてくれる。

２．イザヤ 1:18 エホバはこう言う。「来なさい。私たちの間で物事を正そう。あなたたちの罪は緋(*赤)のようだが，雪のように白くされる。紅の布のように赤いが，羊毛のようになる。；38:17 ご覧ください，私は平和の代わりにひどい苦難を味わいました。しかし，あなたは優しくしてくださり，私を滅びの穴から守ってくださいました。私の全ての罪をご自分の後ろに投げ捨てて(*視界から取り除いて)くださいました。　⇒　（**失敗が心に重くのしかかる時**）

・S08-09　緋色はとても鮮やかな赤で、簡単には消せなくても、エホバはその染みを真っ白にするかのように許すと言ってくださっている。ダビデのように失敗してしまっても、**心を入れ替え**るならエホバは気持ちよく許してくれるだけでなく、晴れやかな心で前を向いて進んでいけるように助けてくれる。

・S10　エホバが背後に投げ捨てた罪は、もうエホバには見えません。エホバはその罪のことを考えることもされない。エホバにとって、私たちが犯してしまった罪はなかったも同然で、最高の裁判官エホバの罪を許すという判断を覆すことは誰にもできない。

３．イザヤ 25:8 神は死を永久にのみ込む(*取り除く)。主権者である主エホバは全ての顔から涙を拭う。ご自分の民に対する非難を全世界から除き去る。エホバご自身がそう語ったのである。；26:19「あなたの死者は生きる。私の民の死体(d*私の死体)は起き上がる。土の中に住む者たち，目を覚まし，歓声を上げなさい！あなたの露は朝露(if*草（アオイ）の露)のようであり，大地は無力な死者を生き返らせる(*産む)。　⇒　（**大切な人を亡くした時**）

・S13　「死を永久にのみ込(む)」んで大切な人との死別を経験することが二度と無くなるという約束は、エホバがしてくださっていることなので、確信できる。

・S14　エホバはただ死を終わらせるだけではなく、亡くなった人たちを将来生き返らせる。「**私の民の死体は起き上がる**」という表現は、エホバのその強い気持ちと、エホバが亡くなった人たちを片時も忘れずに覚えていてくださることが分かる。死という耐え難い悲しみは、復活という言葉にできないほど大きな喜びに変わることを楽しみにできる。

3 番の歌 私たちの力，希望，確信